

D02 深層インタラクション

ソーシャルタッチインタラクション

概要

本研究では、セラピーやカウンセリング支援等のメンタルケアを目的とした、人とロボットの触れ合いインタラクション技術「ソーシャルタッチインタラクション」の研究開発を進めています。これまで人では導入が難しい触れ合いをロボットでメンタルケアに導入することで、物理的な身体を持つロボットだからこそできる新しい支援を開拓します。

特徴

- メンタルケアを対象とする実用的サービスを提供するために、触れ合いインタラクションが可能なロボットの基礎的研究開発に取り組んでいます。
- 精神疾患患者向けデイケアセンターや、精神科医の不足している病院において、支援を必要とする人々への触れ合いを伴う対話を通じたメンタルケアを、精神科医をはじめ医療介護関係者と共に進めています。
- ロボットとの触れ合いを通じた対話によって、緊張をほぐし、より落ち着いて対話を行えたり、集中して話ができたりすることが明らかになりつつあります。

今後の展開

- 病院やデイケアなど医療介護施設での継続的な実証実験を進め、ロボットによる触れ合いがメンタルケアにもたらす影響に関する検証を進めます。自閉症児やうつ病など様々な精神疾患患者や引きこもりや独居高齢者など、孤独感を感じている方々への展開も進めていきます。

テーマ「京都府と共に創るいのちの未来」との関連

- 現状の社会課題の一つに、世界各国で増加する精神疾患が挙げられます。人における原初的なインタラクションである触れ合いを通じたメンタルケアは、物理的な身体を持つロボットだからこそ可能な技術です。その研究開発を通して京都府発のいのちを支える新たな技術を創造します。

ソーシャルタッチインタラクションによる 新たな支援を開拓



触れ合い
セルフモニタリング



遠隔診察

触れ合い
遠隔診察